

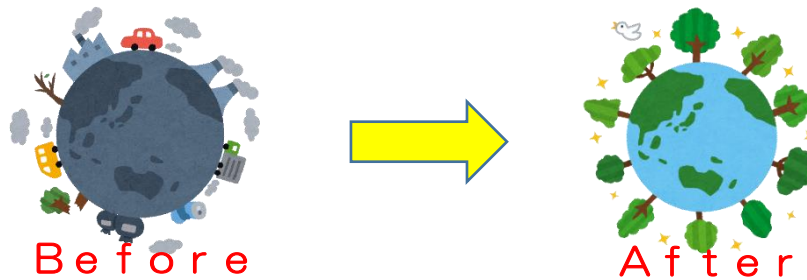
環境月間 ～1人ひとりができることに取り組もう～

環境月間について

国は環境の日（6月5日）がある6月を環境月間と定めており、全国各地で環境に関する取組が行われています。

環境の日は、事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるために、環境基本法第10条に定められています。

環境月間をきっかけに環境について考えてみたり、私たち一人ひとりができることに取り組むことで環境負荷を減らす効果が生まれます。ぜひ、身近な行動からはじめてみませんか。



ここで、市民・事業者のみなさまに環境負荷を減らす様々な取組をご紹介します。

◎ 身近にできる省エネ行動

世界全体の環境問題として、地球温暖化があります。この主な原因である温室効果ガスのひとつである二酸化炭素は電気や水道、ガス、灯油などのエネルギーを使うことで発生します。そのため、家庭でできる身近な省エネ行動をご紹介します。無理のない範囲で省エネ行動に取り組んでみましょう。

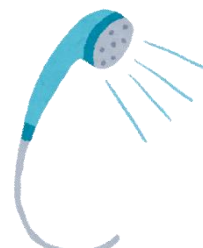
[取組例の一部]

ものを詰め込みすぎない



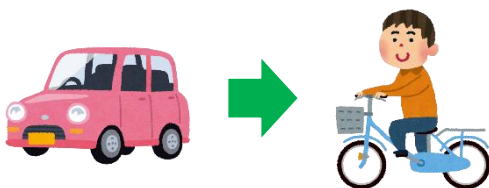
冷蔵庫

不必要に流しっぱなしにしない



シャワー

近場には徒歩や自転車等を使う



移動手段

長時間使わないときはプラグを抜く



電気ポット

【参考】 [第2次稚内市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）](#)、[北海道「実践！おうちで省エネ」](#)

◎ COOL CHOICE（クールチョイス）

二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買い換え」、「サービスの理由」、「ライフスタイルの選択」など地球温暖化対策に貢献するあらゆる「賢い選択」をしていこうという取組で、本市も賛同しています。



【取組例の一部】

• COOLBIZ（クールビズ）

冷房時の室温を冷やし過ぎず、軽装などの工夫で夏を快適に過ごす取組です。本市の夏は、比較的過ごしやすい気温であるため、冷房を使うことは少ないと思いますが、軽装で快適に過ごしてみてもいかがでしょうか。

• WARMBIZ（ウォームビズ）

暖房時の室温を暖め過ぎず、重ね着などの工夫で冬を快適に過ごす取組です。本市の冬は、雪が降り、気温も低いいため、無理をしない範囲で暖房設定を調整することや、暖かい鍋などを食べたりするなど快適に過ごすことができます。

• エコドライブ

ふんわりアクセル（発進時、ゆっくりアクセルを踏み5秒間かけて時速20kmにする）を実施するなど自動車の省エネ行動をすることで、燃費の改善や二酸化炭素排出削減につながり、お財布にもやさしい行動になります。

• Plastics Smart（プラスチックスマート）

買い物する際のエコバッグの使用や、マイボトルの利用によるレジ袋・ペットボトルの使用量が減ることで、海洋プラスチックごみの削減、二酸化炭素排出削減につながります。

• できるだけ1回で受け取りませんか

配達物の受取について、できるだけ1回で受け取れるように、配達時間指定を活用したり、コンビニ受取などの自宅以外での受取を活用することで、再配達によるトラックから排出される二酸化炭素の排出量の増加を抑え、配達員の長時間労働の負担を軽減することができます。

【参考】[環境省 「COOL CHOICEとは」](#)

◎ 食品ロスの削減

食品ロスとは本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品のことです。必要な分だけ購入して食べきることで、資源の有効活用をはじめ、温室効果ガスの排出量の削減といった環境負荷の低減をすることができます。

【参考】[環境省 食品ロスポータルサイト](#)

皆さんもぜひ、始められそうなものから取り組んでみませんか？